

3. 学年の特色

① 低学年（1・2年）

「生活全てが学習の場となる」という考えから、子どもたちの1日は、朝の登校から午後の下校までを1つの流れとして組み立てられています。子どもたちの生活技術や興味関心に配慮して授業を組むよう柔軟に対応しています。必要に応じて補助員が付き、子どもたちの学校生活をサポートしています。

また、本校では、1年生の子どもと2年生の子どもがペアを組む「パートナー制」を実施しています。2年生は、1年生に学校生活のおやくそくや遊び方などを教えながら、自分たちも相手のことを考えて行動することを学んでいます。1年生にとって、2年生のパートナーと一緒に遊んだり生活したりする身近なお兄さんお姉さんであり、2年生のパートナーとの生活は学校生活の楽しみの1つでもあります。



教室給食



授業の様子



休み時間



おはなし会

児童の日記から

きのう2ねんせいのパートナーのみおりちゃんにたてやまのおみやげをもらいました。「おいもほりをしてきたよ」といっておいもをわたしてくれました。それに、おてがみもいっしょにくれました。とってもうれしかったです。

いえにかえったらさっそくおいもをやいてたべました。とてもおいしかったです。たべたらほくほくしてくりみたいでした。そのつぎのひに2ねんせいにおれいの手がみをかきました。

(1年生児童)

今日、テレビれいはいが終わったら1年生のパートナーさんがお手紙をもってきてくれました。さつまいもの形をしていて外がわにはむらさき色のおり紙がのりではってあって内がわは黄色いかた紙がはっています。お手紙には「おいもありがとう。のうぎよそのせいかつたのしかったですか。こんどおはなしきかせてね。わたしはうえのどうぶつえんでどうぶつをみてきたよ。こんどあそぼうね。」お手紙を見てところがあたたかくなりました。(2年生児童)

② 中学年（3・4年）

興味・関心の幅が広がり、主体的・意欲的に活動することで大きく成長する学年です。授業では、「実際にやってみる」「実際に見てみる」といった、子どもたち自身が活動する場面を多く設定しています。

また、そういった子どもたちの主体的・意欲的な活動の土台になるのは「読み・書き・計算」の力です。本校では、各教科で学年ごとの到達目標である「基礎・基本」を定め、その内容をもとに教育活動をおこなっています。基礎・基本の内容を確実に習得することに力を注ぎ、活用的・発展的な学習の土台づくりに努めています。



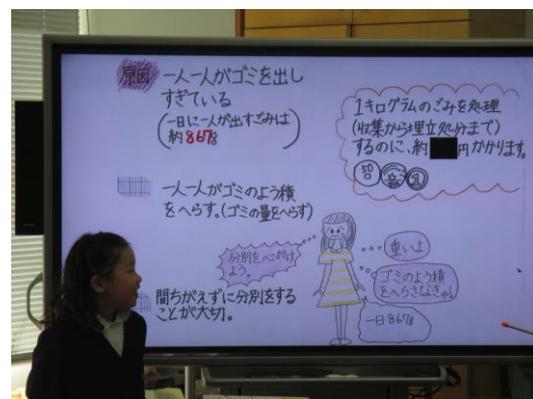
雪国でのフィールドワークのまとめ



社会科見学（わたしたちのくらしと水）



学習発表会（わたしたちのくらしと水）



学習発表会（わたしたちのくらしとごみ）



学校駅伝大会（4～6年生）



近隣の博物館見学

③ 高学年（5・6年）

授業内容のさらなる充実、基礎・基本の定着、発展的な内容への挑戦を目指して、高学年では教科担当制を採用しています。これは、各教科の担当教員を定めて授業をおこなうものです。一人ひとりの行動や性格のちがいが目立って表れてくる高学年の子どもたちですが、教科担当制によってそんな子どもたちの興味・関心に対応した授業を行い、多くの教員で学年の子どもたち一人ひとりをしっかりと見ることを目指しています。多感な高学年の児童だからこそ、きめ細やかにフォローできる体制を整えています。

また、1年生と2年生のパートナーだけでなく、1年生と6年生もパートナーとしてペアを組んでいます。1年生にとって、6年生のパートナーは頼りになるあこがれのお兄さんお姉さんであるようです。6年生は、下級生への心配りや働きかけを通して、学校を動かす最上級生として大切なことを学んでいます。



授業の様子



水泳大会（5・6年生）



運動会（応援合戦）



パートナーとの休み時間の様子

児童の作文から

私が1年生の頃、一番困っていたことは給食でした。食べるのが本当に遅かったのです。1年生のとき、6年生のパートナーのお姉さんとののはじめての食堂給食。わたしのパートナーも食べるのがゆっくりだったのでほっとしたのを覚えています。私が食べるのがおそくても、優しくずっと待っていてくれる優しいお姉さんでした。（中略）

最上級生になりました。1年生のパートナーもできました。そして初めての食堂給食です。「へらしたいものある。」と聞くと「うん、きゅうりが苦手だからサラダをへらしたい。」と言われました。私が1年生のころと同じでサラダが苦手でした。みんなで「ごちそうさま。」をした後もパートナーが給食を食べ終わるのを待っていました。私の頭の中には、5年前、わたしのとなりの席に座って「ゆっくりでいいよ。」と言って、私の給食を待っていてくれたお姉さんの姿がありました。私も、1年生から見て優しいお姉ちゃんにいられているかな、そんなことを思いながらがんばってサラダを食べる1年生を見ていました。「パートナーとのつながりを大事にする」そんな初等部の伝統を、改めて感じることができました。（後略）

◎1週間あたりの授業時間数

	月	火	水	木	金	計
1年	5	5	5	4	4	23時間
2年	5	5	5	4	5	24時間
3年	5	6	5	5	5	26時間
4年	6	6	5	6	5	28時間
5年	6	6	6	6	6	30時間
6年	6	6	6	6	6	30時間